



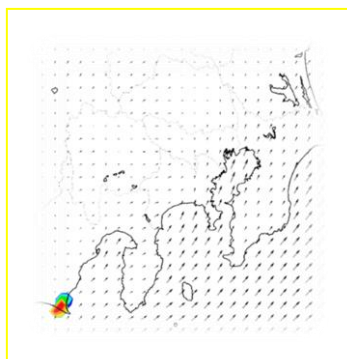
## ■3/24 学習会「ザ・浜岡原発事故」開催します

昨年6月から学習会を重ねてきて、そのまとめ学習会を開催します。浜岡原発事故が起きたら、神奈川・川崎はどうなるのか？「知らなかった！」では遅すぎる。今知らなければ、手遅れに。ぜひ参加して、一緒に議論しませんか。

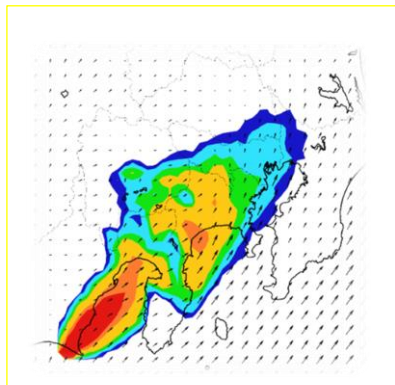


あなたは、どこに逃げる？  
だれと？ どうやって？

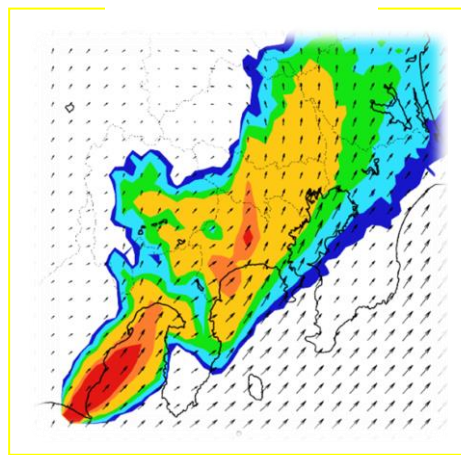
1時間後



7時間後



17時間後



上の図は、浜岡原発2号機がメルトダウンを起こしたと想定して、放射能が首都圏を直撃することをシミュレーションしたものです。

日時は2002年8月9日。出典元は「ストップ！浜岡原発」ホームページより。

副理事長 加藤 伸子

日時：2017年3月24日（金）18：30～

場所：高津市民館 12階 第5会議室 定員50名

内容：安全じゃない浜岡原発！神奈川の危険！ 入場無料

主催：NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所



## ■3・12「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」に参加し、 脱原発に向けて大きな声をあげよう！

福島原発事故から6年が経過しようとしています。各地の避難者の苦しい生活は原発事故当時となにも変わっていません。3月には、住宅支援が打ち切られようとしています。福島県内での子どもの甲状腺がんの増加や、放射性物質の漏出など、原発事故の深刻さを物語る出来事ばかりが続いています。

しかし、政府や電力会社は原発の再稼働の手を緩めません。このままでは、福島原発事故の惨劇が繰り返されてしまいます。

今年で6回目を迎える「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」を開催します。集会には毎年

1000人規模の参加者が集まります。たくさんの団体がブースを出し、音楽演奏もあって、お祭りのような活気ある集会です。

今年は、ゲストスピーカーとして、脱原発運動の第一人者である小出裕章さんをお招きします。また、避難の共同センターの松本徳子さんもお招きし、避難者の実情をお話しいただきます。そして、リレートークでは、今年も当NPO法人からメッセージを伝えます。

大勢の方にご参加いただき、脱原発の一致点でつながる輪をさらに大きく広げ、川崎から脱原発のメッセージをより強く発信したいと考えています。ぜひご参加ください！

### 『原発ゼロへのカウントダウン』

日時：3月12日(日)10:30 OPEN

ブース広場 10:30 開場

文化行事 12:00 開演

メイン集会 13:00 開会

メインゲスト 小出裕章さん

誰でもデモ 14:30 出発予定

場所：川崎市「中原平和公園」



昨年の「誰でもデモ」 2016/3/13

理事 岩坂 康佑 こうすけ (原発ゼロへのカウントダウン in かわさき実行委員会 事務局長)

## ■「なくそう原発！ 3・11 パレード」@鶴見



当NPO かわさき発電所  
も参加します！

日時：2017年3月11日(土) 15:30~

パレードコース：鶴見駅 西口モール 出発 ⇒ 豊岡商店街 ⇒ 三角ロータリー  
⇒ 鶴見駅東口 ⇒ ベルロード (鶴見銀座) 解散

主催：原発なくす鶴見の会・準備会

連絡先：よこはま健康友の会内 045-947-3260



地域の資源で、エネルギーと経済を循環させる村

## ■「上野村スタディツアー＋世界遺産・富岡製糸工場見学」



当NPO法人では、「地域の資源で、エネルギーと経済を循環させる村」のスタディツアーを企画しました。2015年4月、群馬県上野村は村の木を使い、村直営の小型ガス化熱電併給システムで発電を開始、その熱をきのこセンターや温浴施設で活用しています。人口1300人の村で、12億円の経済を回し、150人の雇用を生みました。

もうひとつの目玉は東電の神流川発電所（揚水式）。揚水発電所はもともと原子力発電所と対になって建設されました。日本国内に40ヶ所以上、総出力2,600万kwと世界最大規模の施設ですが、現在稼働率はわずか3%。設備利用率が特に悪くなる夜間に電力で水をくみ上げ、需要がピークとなる昼間に水を落として発電を行うもの。原発停止中の今、どう使われているか学びましょう。

観光は、世界遺産・富岡製糸工場を選びました。ガイド付きで見学します。上野村では高さ90m、長さ225mの観光吊り橋・上野スカイブリッジから山岳風景や集落を眺望。宿泊は野栗沢薬師の湯「すりばち荘」。総檜風呂をお楽しみください。皆さんの参加をお待ちしております。

理事 高橋 喜宣

日程：2017年4月23日（日）～24日（月）

集合場所：JR南武線 武蔵新城駅改札口 午前8時

募集人数：20名

参加費：18,000円（担当 田中・高橋）

申し込み：genpatuzero.hatuden@gmail.com

## ■「生田浄水場復活を願う市民の集い」お知らせ

理事 町井 弘明

日時：2017年3月15日（水） 13:30～

場所：多摩市民館 大会議室 資料代：300円

講演1 「ハミガキするように社会のことを考えよう」～福島第一原発事故から～

よしもと所属の夫婦漫才コンビ おしどりマコ・ケン

講演2 「裁判の結果と今後の浄水場復活運動」

かわさき市民オンブズマン 篠原 義仁 弁護士

主催：かわさきの安全でおいしい水道水を守る会 090-7944-5636（町井）





## 練馬区内の幼稚園など公共的施設に 市民発電所の寄付を続ける



環境まちづくり NPO 元気力発電所 理事長 新藤 絹代



6号機「せいしん」点灯式 2016/9/12

私たちの団体は、前号の活動コーナーで紹介された「環境まちづくり NPO エコメッセ」として2014年まで活動してきました。しかし、地域に根差し、活動成果を地域で速やかに還元していくには「大規模になると組織を見直していかなければならない」というドイツで活動する方の言葉に共感し、2014年4月から「環境まちづくり NPO 元気力発電所」として再スタートしました。

原子力発電所に反対するだけでなく、それに代わる自然エネルギーの普及のシンボルとして市民発電所作りを活動の第1にあげています。多くの皆様からの寄付品を集め、それ

を買っていただくことにより設置費用を作り出しています。現在練馬区内に3か所の環境ステーション「元気力発電所」があり、毎年年間延べ3万人以上の方が訪れ、地域の情報交換を行っています。

これまでエコメッセの13年間に4機(うち3機はGIAC・NEDOの助成事業)、元気力発電所になって3年間で3機を設置し(7号機は今年3月に工事予定)、現在新たな試みとして建物の取り壊しにより不要になるパネルを使った8号機市民発電所を計画中です。2016年5月練馬の出資型共同発電所を目指す(旧社)練馬グリーンエネルギーが設置した1号機に寄付をすることで、地域の環境団体・市民団体との協力もできました。

そのほか、東京電力福島原発事故後は、毎月11日のリユース品売り上げ全額を福島の子どもの保養活動をする練馬の団体に寄付し協力しています。

レオ・レオニの絵本に小さな魚たちが協力して大きな魚のふりをし、大きな魚を追い出す物語がありましたが、小さな組織には、他団体との協力や情報交換が大切です。スタート当初は江戸川の足温ネットさん、横浜のSEPさんにいろいろ教わりました。これからもいろんな団体から学びたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

日本の閉塞状況を打ち破るのは多彩でエネルギーあふれる市民活動・事業だと信じて！

詳しい活動内容はホームページをご覧ください。 <http://www.npo-genkiryoku.org/>

### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

### 【編集後記】

近頃、青空が気持ちいい。早咲きの桜を見つけると足取りも軽くなる。今月は、告知の記事ばかりになってしまった。3・11から6年が経とうとしている。子どもたちに負の遺産を残さないために・・・脱原発のイベントと一緒に参加しませんか？(加藤伸子)

でん太通信は毎月15日に発行しています。

